



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 佐古 一彦 TEL 03-5560-2702
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,060	△0.3	553	3.2	580	△8.3	376	107.1
2020年3月期第1四半期	9,085	0.3	536	△11.8	632	△13.1	182	△60.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 636百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △24百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	48.95	—
2020年3月期第1四半期	23.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	38,434	20,659	53.5	2,667.68
2020年3月期	38,271	20,217	52.5	2,610.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,547百万円 2020年3月期 20,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△2.1	1,400	△4.0	1,600	△7.4	1,000	△20.1	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,740,000株	2020年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	37,723株	2020年3月期	37,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,702,314株	2020年3月期1Q	7,702,563株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内総合物流事業の営業収入は81億5千4百万円（前年同期比1.2%減収）、営業利益は営業原価の削減などにより5億2千3百万円（前年同期比4.5%増益）となりました。

倉庫業は、平均保管残高が31万トン（前年同期30万トン）となり前年同期を上回りましたが、紙類、石油化学品などの荷動きが低迷し、入出庫数量は91万トン（前年同期99万トン）と前年同期を下回りました。

港湾運送業は、コンテナの取扱数量が減少したものの、輸入青果物、ばら積み貨物の取扱数量は増加しました。

自動車運送業は、全般的な荷動きの低迷により前年同期を下回りました。その他の業務は、堅調に推移しました。

国際物流事業の営業収入は9億6千6百万円（前年同期比8.4%増収）、営業利益は2千6百万円（前年同期比16.5%減益）となりました。ロシアでの倉庫事業拡大に伴い増収となりましたが、事業拡大に伴う一時費用が発生したことにより減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収入90億6千万円（前年同期比2千5百万円、0.3%減収）、営業利益5億5千3百万円（前年同期比1千7百万円、3.2%増益）となりました。営業外収支を為替差損を計上したことにより経常利益5億8千万円（前年同期比5千2百万円、8.3%減益）となりましたが、当期は大きな特別損失がなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7千6百万円（前年同期比1億9千4百万円、107.1%増益）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響については、荷動きが低迷したものの、国内総合物流事業、国際物流事業ともに軽微でした。

(2) 財政状態に関する説明

全般の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千3百万円増加し、384億3千4百万円となりました。流動資産は、受取手形及び営業未収入金や前払費用等の増加に伴い、7千4百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産は減少しましたが、株価の上昇に伴う投資有価証券の増加等に伴い、前連結会計年度末に比べ8千9百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億7千8百万円減少し、177億7千5百万円となりました。借入金は長期短期合計で2千1百万円増加しましたが、未払金や未払法人税等が減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円増加し、206億5千9百万円となりました。その他有価証券評価差額金が1億9千7百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し53.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、2020年5月19日の決算短信にて公表した連結業績予想につきましては変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,223	2,239
受取手形及び営業未収入金	4,109	4,220
原材料及び貯蔵品	250	248
前払費用	154	227
その他	551	427
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	7,285	7,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,913	52,930
減価償却累計額	△40,249	△40,385
建物及び構築物 (純額)	12,664	12,544
機械及び装置	20,622	20,814
減価償却累計額	△18,011	△18,121
機械及び装置 (純額)	2,611	2,692
船舶及び車両運搬具	1,210	1,204
減価償却累計額	△1,102	△1,092
船舶及び車両運搬具 (純額)	107	112
工具、器具及び備品	943	935
減価償却累計額	△842	△836
工具、器具及び備品 (純額)	100	98
土地	8,461	8,461
リース資産	113	110
減価償却累計額	△46	△48
リース資産 (純額)	67	62
建設仮勘定	0	25
有形固定資産合計	24,013	23,996
無形固定資産		
リース資産	1	1
その他	118	118
無形固定資産合計	119	119
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	5,007
長期貸付金	33	27
繰延税金資産	635	499
その他	1,477	1,453
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	6,852	6,957
固定資産合計	30,985	31,074
資産合計	38,271	38,434

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,080	3,195
短期借入金	5,374	5,552
リース債務	21	20
未払金	882	536
未払法人税等	378	143
設備関係支払手形	657	852
その他	1,000	953
流動負債合計	11,396	11,254
固定負債		
長期借入金	4,436	4,280
リース債務	48	43
退職給付に係る負債	1,966	1,994
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	55	49
その他	142	143
固定負債合計	6,657	6,520
負債合計	18,054	17,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	6,394	6,578
自己株式	△62	△62
株主資本合計	19,775	19,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	754
為替換算調整勘定	147	182
退職給付に係る調整累計額	△370	△348
その他の包括利益累計額合計	333	587
非支配株主持分	107	112
純資産合計	20,217	20,659
負債純資産合計	38,271	38,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収入	9,085	9,060
営業原価	8,079	8,007
営業総利益	1,006	1,053
販売費及び一般管理費	470	499
営業利益	536	553
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	74	77
受取地代家賃	22	20
為替差益	9	—
その他	26	28
営業外収益合計	133	126
営業外費用		
支払利息	29	25
持分法による投資損失	5	6
為替差損	—	66
その他	2	2
営業外費用合計	37	99
経常利益	632	580
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	14	11
火災による損失	354	—
特別損失合計	369	11
税金等調整前四半期純利益	263	570
法人税、住民税及び事業税	35	133
法人税等調整額	44	54
法人税等合計	79	188
四半期純利益	183	381
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	182	376

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	183	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	197
為替換算調整勘定	△12	36
退職給付に係る調整額	6	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△207	254
四半期包括利益	△24	636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25	631
非支配株主に係る四半期包括利益	1	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

前連結会計年度(2020年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

なお、火災で焼失した当社の設備等に係る損失、それに伴う受取保険金は連結財務諸表に計上しています。

当第1四半期連結会計期間(2020年6月30日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際 物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,231	854	9,085	—	9,085
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23	37	61	△61	—
計	8,255	891	9,147	△61	9,085
セグメント利益	501	32	533	2	536

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際 物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,138	921	9,060	—	9,060
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16	45	61	△61	—
計	8,154	966	9,121	△61	9,060
セグメント利益	523	26	550	2	553

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。